

# 鳥取県有種雄牛 ‘平白鵬’ について

## 1 ‘平白鵬’ の造成

### (1) 背景・目的

畜産試験場では優秀な種雄牛の早期造成を期待する農家要望に応え、鳥取県和牛改良方針に基づき、県内和牛の改良を促進するために独自性の高い種雄牛造成を行ってきた。

これまで種雄候補牛の遺伝的産肉能力を判定する現場後代検定を 2003 年から39頭実施し、17頭の候補牛が選抜されてきた。2016 年 3 月に新たに‘平白鵬’が産肉能力成績県内歴代4位の好成績で選抜されたので紹介する。



2011年3月19日生  
東伯郡琴浦町産  
黒原5616(83.7点)  
【美点】発育、均称、  
体上線、肩付き、体伸

### (2) ‘平白鵬’の要約

#### 1) 血統

母‘みどり’は、‘白清85の3’の娘牛で県内脂肪交雑育種価1位の高性能雌牛であり、本県所有の‘白鵬85の3’、‘百合白清2’を作出した名牛であり、これに藤良系種雄牛である‘平茂晴’を掛け合わせた種雄牛である。

#### 2) 育種価評価

2016年4月評価で、肉質に大きく影響する脂肪交雑育種価が、県内雌牛の上位1/10を超える数値となっており肉質の改良が期待できる。一方、皮下脂肪厚が厚く推定歩留の低下に影響を与えている。(皮下脂肪は小さい方がよい)

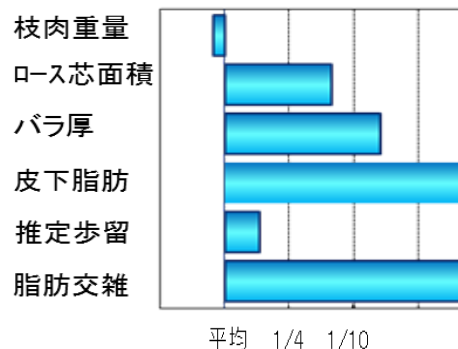
平茂晴 黒原 3712 (84.0) [長崎・老岐]	糸晴美 黒原2142(84.0) [島根・出雲] 間検 1.00 2.6 H04 52 73.7	第7糸桜 黒育29(81.0)	第14茂 黒高280 第9いとざくら 黒育695
		かもふじ3 黒高128375(80.0)	賢晴 黒育40 かもふじ2 黒高109849
直検 1.22 間検 1.01 4.0 H13 48 73.7	しげとし 黒原6392106 (82.6) [鹿児島・鹿屋]	第20平茂 黒育134(84.7)	気高 黒育9 第13ひらしげ 黒高16819
		としこ 黒高71784(79.5)	第2金水 黒育91 さかえる 黒原82506
みどり 黒原1311663 (83.3) [岐阜・高山]	白清85の3 黒原4009(82.2) [岐阜・高山] 直検1.13 G=24 現検 H14	飛騨白清 黒原2640(83.2)	安福(岐阜) 黒育180 第8はくさん 黒高1269991
		やす19の3 黒原957178(80.3)	安福(岐阜) 黒育180 やす165の14 黒原781219
育種価AAACAA	みすず 黒原 1239681 (82.2) [岐阜・高山]	平茂勝 黒原2441(89.0)	第20平茂 黒育134 ふくみ 黒高106567
		ひろみ 黒高142235	安福(岐阜) 黒育180 たかこ 黒原483584

### 育種価評価(遺伝的能力評価値)

	平白鵬	県内雌牛平均
枝肉重量	25.50	29.19
ロース芯面積	11.81	6.61
バラ厚	1.32	0.67
皮下脂肪厚	0.66	-0.31
推定歩留	1.58	1.27
脂肪交雑	2.38	1.26

2016年4月評価

### 県内雌牛との育種価比較



\* 「平均」「1/4」「1/10」はそれぞれ県内供用中雌牛の「平均」「上位1/4」「上位1/10」の育種価を示す

## 2 試験成果の概要

【現場後代検定成績】

性別	祖父	曾祖父	曾々祖父	産次	肥育者	と畜場所	と畜月齢	格付	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	BCS	オレイン酸含有率
去勢	第2平茂勝	安平	隆桜	4	畜産試験場	神戸	25.9	A 5	492.8	88	9.1	3.7	77.5	11	3	49.9
去勢	茂勝	平茂勝	忠福	9	鳥取農家A	名和	27.3	A 5	386.9	53	7.5	2.8	73.9	11	4	53.1
去勢	福之国	安平	隆美	5	畜産試験場	名和	28.6	A 5	540.7	64	9.6	4.2	73.7	10	3	47.9
去勢	美津神	福栄	平茂勝	1	鳥取農家C	神戸	26.9	B 5	408.8	51	8.1	4.4	72.4	9	3	50.0
去勢	百合茂	美津福	金幸	1	畜産試験場	神戸	28.1	A 5	540.2	68	8.1	3.4	73.9	9	3	51.6
去勢	百合茂	安平照	羅威傳王	3	鳥取農家A	名和	28.2	A 5	447.0	50	7.3	2.9	72.6	8	4	53.7
去勢	安福165の9	菊照土井	第2安鶴土井	8	畜産試験場	名和	27.6	A 4	473.7	64	8.1	2.6	74.9	7	3	57.4
去勢	菊安舞鶴	平茂勝	忠福	6	鳥取農家B	名和	29.1	A 4	428.7	57	7.8	2.0	74.9	7	4	51.9
去勢	平茂勝	北国7の8	紋次郎	3	畜産試験場	名和	27.8	A 4	380.7	47	7.5	3.0	73.1	6	4	49.4
去勢	勝忠平	北国7の8	平茂勝	3	畜産試験場	神戸	27.9	A 4	571.6	64	9.2	4.3	72.8	5	3	48.8
去勢	北国茂	平茂勝	谷福土井	3	鳥取農家C	神戸	27.5	B 4	498.7	57	8.2	5.2	71.3	5	3	49.7
雌	安福久	平茂勝	忠福	4	畜産試験場	仙台	31.1	A 5	482.5	69	9.3	4.6	74.4	12	3	—
雌	百合茂	若武者	平茂勝	5	畜産試験場	神戸	29.7	A 5	515.5	86	9.1	4.7	76.1	9	4	56.4
雌	安福久	福安照	平茂勝	2	畜産試験場	神戸	31.8	B 5	524.4	61	7.7	5.2	71.4	9	4	55.9
雌	福栄	安平	隆桜	5	畜産試験場	名和	31.1	A 5	416.0	67	8.8	2.9	76.2	9	4	49.0
雌	美津照重	平茂勝	照神土井	3	畜産試験場	仙台	30.0	A 5	506.5	65	9.5	3.8	74.5	9	4	—
雌	百合茂	第5隼福	平茂勝	1	鳥取農家D	名和	29.0	A 5	481.5	59	8.9	4.6	72.8	8	4	57.6
雌	平茂勝	安平	隆桜	14	畜産試験場	仙台	30.8	A 5	495.5	62	9.6	4.1	74.0	8	3	—
雌	安福165の9	紋次郎	安福(岐阜)	11	鳥取農家B	名和	28.7	A 4	383.5	57	7.4	2.8	74.4	7	3	57.4
雌	北国茂	智頭平茂	系北土井	4	鳥取農家E	神戸	29.1	A 4	431.8	53	9.2	1.8	75.5	7	4	54.8

検定牛全体	20頭	470.4	62.1	8.5	3.7	74.0	8.3	3.5	52.6
去勢	11頭	470.0	60.3	8.2	3.5	73.7	8.0	3.4	51.2
雌	9頭	470.8	64.3	8.8	3.8	74.4	8.7	3.7	55.2

注)単位は枝肉重量:kg ロース芯面積:cm<sup>2</sup> バラ・皮下:cm 歩留・オレイン酸含有率:%

検定の結果、BMS ナンバーは改良目標である8.0を0.3上回る8.3と、選抜時点(2016年3月)において、脂肪交雑成績が県内歴代4位の好成績を収めた。また、皮下脂肪厚の平均が3.7cm と厚い傾向が見られ、このため歩留がB等級の個体が散見されたが、全ての検定牛が肉質等級4等級以上と県の改良目標の80%以上を大きく上回った。

## 3 交配上の留意点

県内に少ない藤良系であり、交配がしやすい種雄牛である。

皮下脂肪厚が厚い傾向が見られるので、皮下脂肪厚の育種価が小さい個体との交配が望ましい。

## 4 試験担当者

〔育種改良研究室 主任研究員 入江誠一〕